

来賓挨拶



九州地方整備局 港湾空港部長 鈴木 勝

ただ今ご紹介いただきました九州地方整備局港湾空港部長の鈴木でございます。本日は、「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」の総会の開催、誠におめでとうございます。この会は、遠く北海道から九州まで、皆さん、遠方よりはるばるお越しいただきまして、どうもありがとうございます。本日は、北陸整備局の同じく港湾空港部長である大野様もいらしてありますが、一応、慣例ということでございますので、地元整備局の私の方から来賓としてのご挨拶を申し上げたいと思います。

まずは、この「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」、九州管内では2回目ということで、今ふと思いましたが、1回目は大陸に近い対馬、2回目は唐の港、唐の津でありますこの唐津。やはり日本海交流と言いながらも、対岸との交流、環日本海交流というものを強く意識したセッティングかなと思いました。

実は、私事でございますが、私も九州の勤務は2回目でございますが、新潟にも勤務しております。環日本海交流プロジェクトというものにも随分昔から関わっております。

こちらの唐津の方も、私ども地元の皆様の「唐津みなとまちづくり懇話会」のお示した素案を大きく反映いたしまして、港湾計画を改訂しております。そのポイントは、やはり貨物量も、倍の貨物量が使えの岸壁の整備等々を盛り込んでおるわけでございますけれども、かたや一方で、「唐津みなとまちづくり懇話会」の方々が、今日はとても素敵なおチラシを作っていただいたそうで、この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。

先ほど申し上げましたとおり、日本の物流というのは、日本だけではなくて中国、韓国との交流が最近はいへん盛んになっております。こういうことを言うと、地元なので、よくないのかもしれませんが、距離的には九州がたぶん一番近いのだらうと思います。それから唐の港、この唐津、必ずや日本海交流のトップバッターになる資格を持っている港ではないかと思っております。本日は、このシンポジウムでいろいろ楽しい話が聞かれると思いますので、たいへん楽しみにしております。

最後になりましたけれども、このネットワークのますますの発展と、今日ご参集の皆様のご健康ご健勝を祈念するとともに、本日総会の労を取って下さいました坂井唐津市長をはじめとした皆様に感謝を申し上げまして、私の来賓の挨拶とさせていただきます。どうも本日はおめでとうございます。